

基本目標11 みんなで育みあうためのしくみづくりの推進

1 総括

区分	事業数 (実数)	取 組 状 況				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
新規	6	4	5	5	6	6
継続	19	19	19	19	19	19
計	25	23	24	24	24	25

2 新規事業の実施状況

No.	事業名	実施予定年度	実施	着手	前期計画における実施状況
475	(仮称)相模原市次世代育成支援対策地域協議会の設置 【こども青少年課】	平成17年度	○		平成17年10月、相模原市次世代育成支援行動計画推進会議を設置し、計画実施状況の把握・点検を継続的に行った。
477	児童虐待防止対策のセンター的な役割を担う機関の設置 【こども家庭支援センター】	平成17年度	○		基本目標1を参照。
482	「子育て支援総合コーディネーター」の配置 【こども家庭支援センター】	平成17年度～	○		平成18年度から家庭児童相談員をコーディネーターとして位置付け、地域のさまざまな子育て支援サービスに関する情報を提供している。
483	子育てマガジンの発行 【こども青少年課】	平成17年度	○		平成17年度から、子育て家庭を支援するため、各種の育児、子育て支援サービス等の情報や乳幼児とその親が外出する際の遊び場等の情報が掲載した子育てガイドを発行した。 平成21年度版から、「赤ちゃんのためのブックリスト」の内容も掲載した(年間発行部数:20,000部)。また、外国語版として、英語・中国語・タガログ語・日本語ルビ振り版の子育てガイドを発行した。(年間発行部数:英語 200部、その他 各150部)
487	家庭教育の推進 【生涯学習課】	平成19年度	○		基本目標5を参照。
498	保育所における第三者評価の推進 【保育課】	平成17年度～	○		公立保育園では平成18年度3園、19年度3園、20年度3園、21年度3園で実施。

3 継続事業の実施状況

No.	事業名	主管課	前期計画における実施状況
476	女性相談事業の実施(再掲)	男女共同参画課	平成21年度は、2,392件の相談を行った。
478	母子(父子)相談の充実(再掲)	こども青少年課	母子自立支援員が、母子家庭の母や父子家庭の父の自立や生活支援などの相談に応じ、また、母子寡婦福祉資金の貸付申請指導も行った。
479	婦人相談事業の実施(再掲)	こども青少年課	婦人相談員を配置し、女性の様々な悩みごとの相談相手となり、助言などを行った。

### 3 継続事業の実施状況

No.	事業名	主管課	前期計画における実施状況
480	青少年教育相談事業、 青少年相談事業の推進(再掲)	青少年相談センター	『教育相談』 来所相談11,137件と多くの相談に関わっている。内容としては、不登校や登校しぶりに係る相談が約70%を占めるが、発達に関する課題や養育に関する内容が増加傾向にある。 『青少年相談』 非行傾向にあるこどもたちの相談は、209件となっており、その内要保護児童地域対策協議会で57件受理し、学校と協力して状況改善に向けて支援を図った。
481	ヤングテレホン相談の実施(再掲)	青少年相談センター	電話・E-Mail相談1,049件があった。特に時間を気にせず相談できるE-Mail相談が、203件増加傾向にある。
484	インターネットによる子育てに関する 情報提供の推進	こども青少年課	市ホームページの内容の充実を図るとともに、神奈川県が提供する情報システムとの連携を図る等により、子育てに関する情報の提供を推進した。
485	保育所機能を活用した育児情報の一元化・ ネットワーク化の推進 (地域子育て支援センター事業)(再掲)	保育課	平成21年度は、公立17園、民間41園、合計58園で実施した。
486	公民館等で行う子育て学習講座の充実 (再掲)	生涯学習課	子育てや家庭教育での学習課題を捉えた内容により、公民館等での学習機会の提供を行った。
488	広報誌「てんとうむし」の発行(再掲)	青少年相談センター	年間3回(7月・11月・3月)所報として発行した。 各号の特集は、 193号「みんなで協力 魅力ある学校づくり」 194号「子どもたちの勤労観・職業観を育てる」 195号「子どもたちの遊びの体験」 発行部数、毎号3,200部
489	こどもセンター、児童館、 児童クラブ指導員研修の充実	こども施設課	社会情勢の変化に対応し、通常研修に加え、児童虐待に関する研修、防犯等危機管理研修、障害児対応研修、コミュニケーション・指導力アップ研修、児童心理研修を実施した。